

授業概要

学級崩壊、いじめ、教員免許更新制度など、今日、教育をめぐる問題は多様であり、さまざまな議論がなされている。これらの印象的・表面的な批判にとどまらず、教育を深く理解し、今後の教育の有り方を構想するためには、そもそも「教育(education)」とは何なのか、という根源的な問いに立ち返る必要がある。本講義では、教育を歴史的・思想的に考察したうえで、現代の教育問題を取り上げ、また、体験等の実践も行う。これらを通して教育の原理的な理解を深め、今後の教育の有り方について模索していく。また、体験学習や戦争体験講話も取り入れる。特別講師を招聘する可能性もある。

授業計画

第1回	ガイダンス 教育原理とは何か。
第2回	教育思想Ⅰ 子ども観の歴史的変遷
第3回	教育思想Ⅱ 日本、海外の教育思想
第4回	歴史と教育Ⅰ 近代学校の成立、西洋
第5回	歴史と教育Ⅱ 日本
第6回	被爆体験講話（インターネット又は特別講師）
第7回	幼児教育の思想
第8回	学校教育
第9回	特別支援教育
第10回	体験学習
第11回	教育制度
第12回	思春期の諸問題
第13回	諸外国の教育
第14回	子ども虐待
第15回	生涯学習
第16回	定期試験

到達目標

そもそも教育とは何か。教育の歴史など原理的理解をし、教育の基礎的教養を修得した上で、現代の教育問題についての解決策を自分自身で見いだす。

履修上の注意及び予習・復習

出席は必須。遅刻厳禁。正当な理由での遅刻（公共交通機関の遅れ等）の場合は、証明書等を用意して教員に届け出ること。授業中の私語厳禁。積極的な受講態度を期待します。

評価方法

試験 50%、小レポート 30%（授業時に課す）、受講態度 20%で総合的に評価します。積極的に参加してください。

テキスト

適宜プリントを用意します。